



■ LISM

[リスム]

Less is moreの金言に倣い、ミニマルの中に快適な掛け心地を追求。華美を排しつつも退屈に陥らないデザインワークが見事だ。

(上)「LM-3001 Col.3」

(下)「LM-3006 Col.1」

価格各2万2000円◎アイテック

■ BEAMS DESIGN

[ビームス デザイン]

芯金に装飾を施した力強いディテールの国産ライン。両モデルとも昨今リバイバルしているテレビジョンカットを取り入れている。

(右)「BDJ-1025 Col.3」

(左)「BDJ-1026 Col.1」

価格各3万9600円◎サンリーブ プレスルーム



iOFT

EYEWEAR EXHIBITION



■ tonysame:

[トニーセイム]

細さが魅力のV-cutシリーズ新作はエッジ感が際立つバント型。New Waveシリーズはシャープさが新鮮なナイロール型が目を引いた。

(右)「TS-136 Col.569」

価格2万5300円

(左)「TS-138 Col.140」

価格2万8600円

◎トニーセイムジャパン

■ FLIPON

[フリッポン]

ネジを使用しない特許構造によってフロントリムとバーの隙間を最小限に設計。重さを感じさせない跳ね上げフレームの新ブランド。

(右)「FO-1003 Col.4」

(左)「FO-1004 Col.3」

価格各2万2000円◎ハグ・オザワ



■ MEKU

[メク]

さりげない曲線が立体感を生む「MEKU」は今年デビューのブランド。ナチュラルメイクのように着飾りすぎず、ワントーンアップした自分と出会うのが魅力。

(上)「MKU-1005 Col.2」

(下)「MKU-1003 Col.2」

価格各2万2000円◎アイテック



iOFT

EYEWEAR EXHIBITION



TIDOU

[タイト]

極薄のウィンザーリムでチタンを挟み込んだ軽量なダブルブリッジ。メタル&アセテートの絶妙な表情とグラマラスな玉型は春夏のスタイルにぴったり。

(右)「TT84 Col.01」

(左)「TT83 Col.01」

価格各4万9800円^税ニュークリエイション日本事務所



Masaki Matsushima eyes

[マサキ マツシマ アイズ]

幾何学模様の抜きをアクセントに、それぞれ異なる印象を醸し出すハーフリム。いずれも正面からはすっきりと見えるデザイン。

(上)「MF-1304 Col.1」

(下)「MF-1303 Col.3」

価格各5万2800円

^税サンリーブ プレスルーム



UNSUIKYO

[ウンスイキョウ]

日本メガネ大賞2025を勝ち取った香港気鋭ブランドの新作。得意のウッド素材をチタンと組み合わせ、独特の色彩感覚を表現する。

(上)「M.BLOSSOM Col.GN」

(左)「M.SUMMERTIDE Col.RS」

価格各7万5900円^税インターハウス東京事務所

SOSPURI

[ソスピーリ]

厚みのあるクリアなアセテートにラインストーンを散りばめた新作。正面からは品よく、横顔は華やかに見える絶妙なバランス感覚。

(右)「VIDA Col.641」 価格14万3000円

(左)「ROSALBA Col.018」 価格18万1500円

^税エイトオブティク

SPECIALEYES

[スペシャライズ]

テンプレの表裏を凹凸型にすることで負荷を均等に分散し快適な掛け心地が体感できる。テンプレートに施された抜きデザインも軽快な印象。

(上)「SPE-8401 Col.2」

(下)「SPE-8400 Col.4」

価格各3万3000円^税アイテック



MODE OPTIQUE

俳優 **岡部たかし** さんの私物眼鏡

**眼鏡を掛けた方が
人と話しやすいんです**

特集

**眼鏡のトレンド
個性の時代へ**

- silmo総力特集
デザイナーおすすめパリの街
- 日本の展示会特集
- デザイナーの愛車拝見
- 来日デザイナーの
「My Favorite Japan」